

令和 6 年度 第 3 回富山支部評議会の概要報告（速報）

開 催 日	令和 7 年 1 月 16 日（木）10：00～12：00
会 場	翡翠の間（ボルフアートとやま 4 階）
議 題	（1） 令和 7 年度富山支部保険料率について （2） 令和 7 年度富山支部事業計画及び保険者機能強化予算について（案） （3） その他（令和 6 年能登半島地震への協会の対応について）
出 席 者	評議員 学識経験者：森口評議員（議長）、岡本評議員 事業主代表：平野評議員、深松評議員、高野評議員 被保険者代表：河口評議員、三浦評議員
報 告 概 要 （主な意見等）	事務局より各議題について資料により説明。委員の主な意見等は以下のとおり。 議題 1. 令和 7 年度富山支部保険料率について 資料 1 令和 7 年度富山支部保険料率について （学識経験者） 前々年度の支部収支差精算のための保険料率加算が 0.04%であり、インセンティブによる保険料率の減算分 0.029%を上回っている。この精算による保険料率加算減算はふたを開けてみないと分からないといったものなのか。 （事務局） その通り。 （学識経験者） 今後支出を増加させないためにも日々の医療費適正化や、健診を受診して重症化予防に努めることが大切という認識でよいか。 （事務局） その通り。 （被保険者代表） 令和 7 年度保険料率については賛成である。ただ、支部保険料率を、全支部で比較すると一番高い支部と一番低い支部とで 1.3%以上の差があり、前年度以上の乖離幅である。標準報酬月額 30 万円で

計算すると、保険料月額で約 4,000 円の差があり、この差に疑問を感じる。そうした中、インセンティブによる減算対象支部が 2 分の 1 から 3 分の 1 となり、より支部間格差が生まれるようになっているが、そのことについてどう考えるのか。

(事務局)

支部保険料率の乖離幅については、一部の支部評議会からご意見をいただいていることは承知している。

令和 6 年度よりインセンティブによる減算対象支部を 3 分の 1 としたことについては、メリハリをつけてインセンティブを付与することで、より一層の加入者の行動変容につなげるため、以前に各支部評議会でも議論いただき、見直しを行った。

(議長)

富山支部の評議会の意見として、令和 7 年度の富山支部保険料率について、9.65%に異論なしということよろしいか。

(評議員一同)

異論なし。

議題 2. 令和 7 年度富山支部事業計画及び保険者機能強化予算について (案)

資料 2-1 令和 7 年度富山支部事業計画について (案)

資料 2-2 令和 7 年度富山支部事業計画及び保険者機能強化予算について (案) (概要版)

(学識経験者)

ここでいう査定額とは、どういうものか。

(事務局)

査定額は査定レセプトのうち、療養担当規則に基づいていないために減額・調整となった金額の 1 件当たりの平均である。

(学識経験者)

直近の実績である 8,250 円は査定額としては大きいのか。

(事務局)

査定額はレセプトにより大小様々あり、金額の高いレセプトから効果の高い点検を優先し行った結果、この金額となった。

(学識経験者)

都道府県によって医療機関のレセプト作成時のチェックの厳しさが違うと思われる。その点が、レセプト査定率にも影響していると感じた。

レセプトの点検は熟練度が必要という中で、富山支部の点検員の経験年数はどのくらいか確認したい。また、経験値があっても日々の情報の更新に追いつくため定期的な勉強会が必要かと思われる。

(事務局)

点検員のほとんどは経験年数 10 年以上である。また、新しく雇用する際も過去に医療事務を行っているなどレセプトにかかる知識を有する方を採用するようにしている。

(学識経験者)

健診関係の実施率について、現状では前年度のほうが高いが、今年度は今後上昇していく見込みはあるのか。

(事務局)

健診の実施率については、前年度実績と比較すると現状では低い数値となっているが、年度末に向けて同水準まで数値は上昇していく見込みである。

生活習慣病予防健診実施率は前年度と比較しても低く、KPI 達成見込みについては現状不明である。事業者健診データ取得率も前年度より低い。年度末に向けて現在健診機関から事業者健診データを提供いただくよう依頼を強化している。

特定保健指導実施率は、被保険者の実施率の KPI 達成は厳しいと思われる。一方、被扶養者の特定保健指導実施率は昨年度より上昇する見込みである。

(学識経験者)

未宣言事業所と比べ健康企業宣言事業所のほうが、健診・特定保健指導実施率ともに高いことがわかるが、富山支部加入事業所のうちの健康企業宣言事業所の割合が他県に比べると低い。単純に健康企業宣言事業所の割合が増えれば実数的にも健診等実施率が伸びると思われる。健診等実施率を伸ばすためには健康企業宣言事業所の割合を増やすことが重要であるといった認識でよろしいか。

(事務局)

その通り。富山支部の宣言事業所割合はそこまで高くないが、宣言いただいている事業所には職員の徹底したフォローアップもあり健診等実施率が高くなっている。ただ、宣言事業所を増やすと正職員の事務負担も増えていくため、契約保健師等を活用しつつフォローアップを進め、正職員は宣言事業所の増加に注力していく。

(学識経験者)

協会けんぽは国保に比べ健診実施率が高いが、特定保健指導実施率は低い。実施率向上に向け、保健指導者の確保が重要である。

(事業主代表)

今後健康企業宣言事業所の拡大に向け、どのように進めていくのか。

(事務局)

定期的な文書勧奨等により、健康企業宣言事業所を増やすことに加え、大規模事業所で健康企業宣言を行っていない事業所には支部長、部長によるトップセールスで勧奨を行っていく。

また、企業の会合の場で健康企業宣言の話題が出るなどにより、会合での説明依頼もある。その際

には、積極的に参加し周知広報に取り組んでいる。

（被保険者代表）

健康企業宣言の Step2 を目指す企業も増えていくだろうが、学生に対してはあまり響いていないのが現状。当初健康企業宣言は採用にもつながるとして薦められて実施し、自社としてはホワイト 500 の基準以上になるように取り組んできたが、学生からしたら健康経営はやって当たり前としか捉えていない。大学に強くアピールしたり、Step1 や Step2 の立ち位置について Step2 が最上位であることを図解で分かりやすく伝えるようにしたりと工夫が必要と思われる。

また、睡眠講座について、講師を選ぶとしても様々な講師がいて適正な講師が誰か分からないと思われる。講師の選定のときはフォーカスを当てるのは睡眠の時間・質なのか睡眠サイクルなのか明確に決めるべき。

（学識経験者）

Step1、Step2 認定事業所の更新はあるのか。

（事務局）

3 年更新である。更新の際は事業所の健診実施率等を確認するのだが、更新後は実施率が低下する事業所がある。そのため更新後も定期的なフォローアップをして実施率が低下しないよう努めている。

（事業主代表）

ジェネリック医薬品の使用割合について、ジェネリック医薬品が不足しているといった話を聞く。ジェネリック医薬品を普及するためには国に供給量を増やすように働きかけをしないと使いたくても使えないといった状況になると思われる。

（事務局）

第 4 期医療費適正化計画でもジェネリック医薬品の安定的な供給を基本として目標を定めているが、現状として安定供給が図られておらず、医薬品が不足している実態であることは認識している。このような状況を踏まえたうえで、各事業の実施や外部への意見発信を行っていく。

（事業主代表）

公式 LINE についてターゲットは誰なのか。

（事務局）

LINE では年齢層によるターゲットは定めておらず、メールマガジンは事業所担当者、LINE は加入者本人及びその家族に情報をお届けすることを想定している。

（事業主代表）

健康企業宣言をしている会社に PR を行うのはどうか。例えば自社では従業員全員に連絡用スマートフォンを持たせているため、事業所を通じての働きかけなら登録者は増えると思われる。

(事務局)

LINE の登録勧奨は、健康企業宣言事業所も含めた事業所訪問時にチラシを配布する等、まずは担当者に登録をしていただくよう勧めている。そこから被保険者や被扶養者に登録を勧められるような魅力的なコンテンツを発信できるよう、内容の充実を図っていきたい。

(事業主代表)

協会けんぽの活動を加入者に周知するうえで広報費は重要になってくる。予算案の LINE 広報費は 53 万円弱で本当に足りるのか。多くの加入者に LINE を知ってもらってそこから健診情報など伝えるのが重要と思う。SNS も有効な広報媒体であり、お金もあまりかからず発信できるので良い。今後、予算の組み方や広報媒体の利用の仕方などが重要になってくるのではないかと思う。

(被保険者代表)

健康保険委員の委嘱は無料であることもあり、順調に委嘱者数を伸ばしているが、社会保険委員会の会員数が減少傾向のため、加入促進に向けて協力をお願いしたい。現状倒産などで脱退する事業所もある中、県内 2000 事業所の加入を維持したいところである。

議題 3. その他（令和 6 年能登半島地震への協会の対応について）

資料 3 令和 6 年能登半島地震への協会の対応について

特段の意見なし

以上

特 記 事 項

・次回 令和 7 年 3 月開催予定